



浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

先端光・電子技術による輸送機器用次世代技術、新農業、健康・医療及び光エネルギー分野の基幹産業化を推進

総合調整機関

公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
〒432-8561
静岡県浜松市中区城北三丁目5-1
静岡大学浜松キャンパス内
TEL053-471-2111

参画機関

- (太字はプログラム実施機関)
- 産…浜松商工会議所、豊橋商工会議所、(株)サイエンス・クリエイト、**(公財) 浜松地域イノベーション推進機構**
 - 学…静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学、豊橋技術科学大学
 - 官…静岡県、浜松市、愛知県、豊橋市
 - 金…静岡銀行、浜松信用金庫、遠州信用金庫、豊橋信用金庫



プロジェクトディレクター
坪井 務

略歴：昭和54年（株）日立製作所入社。平成22年からスマートシティ事業統括本部担当部長を経て、現職

本プログラムは、地域の特長を生かした産業創造育成の活動であり、地域に財産を残すシステム作りでもある。プログラム終了後も事業化ユニットによる具体的事業の推進を行い、最終的には事業の成功によりもたらされる資金を、次の資金とする「イノベーション・エコサイクル」の実現を目指している。

地域イノベーション戦略

浜松・東三河地域が保有する革新的気質、事業化への経験と実績、イノベーションの源泉である基盤技術と研究成果を発展させ、新産業の創出を進めるとともに、産・学・官・金が横の関係で結び付く水平連携型（ネットワーク型）の産業構造を構築する。最先端の光・電子技術を基盤として、より良いQOL(Quality of Life)を志向する安全・安心・快適で成長可能な社会を実現するための「ライフフォトニクスイノベーション」を持続的に展開し、輸送機器用次世代技術、新農業、健康・医療及び光エネルギーの4つの産業分野の基幹産業化を推進する。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：静岡大学、浜松医科大学）

静岡大学と浜松医科大学が研究者を招へいし、密接に連携して、テラヘルツ波を含むあらゆる波長の光・電磁波の技術を活用し、医療における診断・分析に役立つ医療機器や創薬への応用技術を開発する。

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：光産業創成大学院大学、豊橋技術科学大学）

先端光・電子技術を拠り所としてイノベーションの展開を担う革新的な人材を養成するための人材育成プログラムを開発・実施する。

光産業創成大学院大学は、新製品のみならず、新産業をつくりあげることができる人材を育成することを目的として“光産業創成プロデューサー”育成プログラムの開発及び実施を、豊橋技術科学大学は、地域が持つ光・電子技術を活用したセンシング技術、複合環境制御技術、光合成環境の最適化技術などを基に、植物工場の管理運営に必要な広範な基礎知識を習得し、安全で、高品質、高収量で安定な植物工場経営ができる人材を養成することを目的として“最先端植物工場マネージャー”育成プログラムの開発及び実施を行う。

3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構）

地域連携コーディネーターを配置して、大学等研究機関、企業、金融機関を含めた事業化ユニットを形成して事業化を支援する。併せて、国内外への展示会への出展等を通じて市場・販路を開拓する。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：浜松医科大学）

浜松医科大学・産学官共同研究センターが管理運営する研究用の「高速CT装置」「高磁場MRI装置」等最新医療装置の産学官共同利用を促進し、産学・学学連携研究を加速するための共用促進事業を行う。これにより、本地域の多数の企業が取り組んでいる医療関連機器の開発、無機物、動植物の非破壊分析への活用、画像処理技術の開発推進を進め、医療用のイメージング装置、周辺機器、画像処理技術を用いた健康医療産業における新規事業化に向けた技術開発を加速する。

